

発言No.

5

受付No.

15

令和3年2月15日

10時45分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 1 番

氏名 三浦大紀

答弁を求める者
(○をつける)

○市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 コミュニティづくりのアプローチについて

高齢化・人口減少が進み、地域コミュニティという社会基盤が弱まっている。
その人らしい生活を送ることができる社会の実現には、孤立しないこと（つながり）が重要であり、関係の構築にはテーマや人材等が必要になってくると考える。
市民共通のテーマでありながら、普段は意識しにくい「健康」に着目し、コミュニティづくりにおける保健・医療・福祉分野のアプローチについて、以下質問する。

(1) 保健・医療・福祉事業によるコミュニティづくりについて

- ①コミュニティづくりにおける保健・医療・福祉的アプローチをどのように捉えているか。
- ②コロナ禍に、社会とのつながりの回復を求める傾向が強くなったのではないか。その状況は。
- ③地域包括ケア（病院と施設の医療介護連携）だけではカバーしきれない領域がこれから増えると思うが、そこをカバーする人材（保健師、保健委員など）や体制は十分であると思うか。
- ④今後、まちづくりセンターに求める役割において、社会福祉をどのように位置付けているか。

以上